

事務事業名	ふるさと文化伝承館(文化財調査事務所)維持管理事業		所属部局	教育委員会	単位番号	12423				
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	文化財課	課長名	伊東 仁				
			所属担当	文化財	担当者名	保阪太一				
基本政策	V	個性と文化を育む都市づくり	予算科目	会計 01	名称 一般	款 10	項 04	目 05	細目 040	細々目 02
政策	25	文化づくりの推進	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
施策	39	歴史・伝統文化の振興								
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 15 年度)		法令根拠	南アルプス市ふるさと文化伝承館条例						
事務事業の概要	事業の内容: 期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 ふるさと文化伝承館(文化財調査事務所)の維持管理と各種文化財の適切な管理 ・施設内の環境整備 ・施設内の備品管理 ・施設内の文化財(資料)、出土品遺物等の保管、管理			事業費の主な内訳 (24年度 決算見込)						
				項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)			
			消耗品費	344	修繕費	229				
			燃料費	25						
			光熱水費	2,778						
			電話料他	227						
			委託料	1,855	計	5,458				

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	24年度活動実績 ふるさと文化伝承館における文化財の適切な調査、保管収蔵、公開、教育普及が行えるような適切な維持管理を行う。その他事務所の適切 25年度活動予定 ふるさと文化伝承館における文化財の適切な調査、保管収蔵、公開、教育普及が行えるような適切な維持管理を行う。その他事務所の適切	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	市民一般	⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	・入館者が安全、快適に展示資料等を活用できる ・文化財及び関係資料等が適切に保管される	⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	歴史的・文化的背景を尊重した豊かなまちづくりが行われる。 歴史的文化遺産のよりよい形での次代への継承が行なわれる	⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	最終	年度
				(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(次年度計画・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)	
		国庫支出金	千円								
		県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円			8,000					
		一般財源	千円	5,787	5,458	389	5,658	5,658			
		事業費計(A)	千円	5,787	5,458	8,389	5,658	5,658	0		0
	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	3	3			
		延べ業務時間	時間	400	400	400	400	400			
		人件費計(B)	千円	1,585	1,585	1,585	1,585	1,585	0		0
		(A)+(B)	千円	7,372	7,043	9,974	7,243	7,243	0		0
	活動指標	アイウ	人	4,280.0	4,700.0	4,700.0	4,700.0				
	対象指標	アイウ	人	72,000.0	72,000.0	72,000.0	72,000.0				
	成果指標	アイウ	%								
	上位成果指標	アイウ	%	38.0	38.0	39.0	40.0				

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	市内に分散されていた文化財調査事務所を平成20年までに統合し、施設の統廃合のもとふるさと文化伝承館の整備を進めながら、限定的に公開。21年度からは一般公開
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか?また、今後の予測は?	市内に点在していた文化財調査事務所を統合し効率的に収蔵管理出来ているが、収蔵スペースの限界や設備の修繕箇所が年々増加している
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	伝承館については市民にまだ浸透していない印象がある。甲西事務所に収蔵されている民具などの文化財についてはより良い環境で保管しぜひ公開して欲しい旨の声が寄せられている

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容↓】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由↓】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	市内に点在していた文化財調査事務所を統合し、効率的に収蔵管理している。 ふるさと文化伝承館の一般公開に向け準備し、平成21年度、常時一般公開を開始した。
③ H 24年度に実施した改革改善の内容	収蔵資料を整理し、保管スペースの確保に努めた。

事務事業名	ふるさと文化伝承館(文化財調査事務所)維持管理事業	所属部	教育委員会	所属課	文化財課
-------	---------------------------	-----	-------	-----	------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 地域住民や子どもたちが地域の歴史を知ることやふるさと意識や郷土愛を醸成することができ、伝統と文化を育むまちづくりとなる。また、本市の歴史的な魅力を市内外へ周知することは本市特有の歴史・文化づくりを推し進めることとなる。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 文化財の適切な保管とともに周知を兼ねた施設であり、公費を投入して行われた文化財の調査成果の市民への還元行為であるので、まず市で行うべきものである。また、扱っているものの全てが文化財であり、その扱いに専門性、熟練性が求められる。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 南アルプス市の文化財については市民共有の財産であり、また、文化財情報の発信拠点施設でもあるので、広く市民一般を対象とすることは妥当。共有の財産である文化財を調査し、安全に保管・活用し続けることに見直しの余地はない。郷土愛の醸成には更に施設の認知度を高める必要がある。開館日の拡大が必要。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 文化財の収蔵環境の面や、収蔵スペースの確保には改善の余地がある。23年度は週休2日と開館日が減少しているが、開館日におけるサービスを下げることなく開館できた。今年度は週休1日となり来館・認知が増えることが期待出来、成果の向上に
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 影響なし ⇒【理由と影響の内容↓】 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 地域住民が地域の成り立ちを知り、郷土愛を醸成する機会を失う。文化財の調査ならびに収蔵する施設を失う。文化財を適切に収蔵し次代へ引き継ぐことができなくなる。 地域住民が地域の成り立ちを知り、郷土愛を醸成する機会を失う。文化財の調査ならびに収蔵する施設を失う。文化財を適切に収蔵し次代へ引き継ぐことができなくなる。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 開館日におけるサービスの低下を防ぐため23年度は開館日を増やした。よって22年度に比べ成果を下げた対応といえ、これ以上のコスト削減はあり得なかった。また、入館料を徴収するにふさわしくすべく初期投資が必要となるため削減の余地はない。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 H24年度2名のスタッフが確保出来たがその内の1名はまだ緊急雇用採用なので、安定した雇用体制ではない。安定した雇用体制が求められる。削減余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 市の文化財は市民共有の財産であり、公平といえる。市民、市内小中学校全てに広く施設の周知、活用を呼びかけており、公平といえる。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	学校及び市民からのニーズも充分に感じているが実質昨年より質を落とした運営をせざるを得ない状況であり、維持管理の人的配置が求められる。市民への浸透が充分でない現状において館の運営活動量を削減したことは昨年の改善点である成果の向上に反している。当施設は地域の歴史的、文化的遺産の「保護・調査」と「活用」という両軸を司っている拠点施設であるが、経年に伴うランニングコストの確保などコスト削減は難しいため、より充実した活用を図ることで成果を上げ効率のよい運用を図るべきである。さらなる工夫が必要となる。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について	(5) 事務事業優先度評価結果																					
① 適切な収蔵環境の確保 ② 維持管理するためのスタッフの確保 ③ 収蔵スペースの確保 ④ 展示公開スペースの確保 ⑤ 安定した雇用体制	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑧</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>①</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑧	コスト削減優先度評価結果	①																	
成果優先度評価結果	⑧																					
コスト削減優先度評価結果	①																					
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策																						
① 新たな維持管理費の発生しない既存施設の一部を利用するかもしくは初期投資を最小限に抑えた収蔵スペースを確保する。 ② スタッフ賃金の確保 ③ 維持管理の面ではボランティアスタッフで補うことは困難であり、安定した雇用は必要となる。 ④ 収蔵スペースを伝承館の既存スペースのほかに確保することで展示スペースを拡張する。																						